

# 会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時  
(福井教育長) これより第10回教育委員会定例会を開会する。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 仲田委員

4 議事

(1) 議案第24号 平成28年度教育費補正予算について

教育総務課長 (資料に沿って説明)

生涯学習課長 (資料に沿って説明)

教育長 補正予算につきまして、緊急なものでもございますし、あるいは建設に伴って積み上げていったものでございます。

いかがでしょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

5 報告事項

○教育長報告(教育長 別紙のとおり)

○倉吉市教育委員会人事異動(教育長 資料に沿って説明)

○学校教育課(学校教育課長 資料に沿って説明)

(1) 区域外就学・校区外就学の承認について

(2) 不登校・問題行動の状況について

(3) 倉吉市民シンポジウム倉吉市立小学校適正配置の推進について

(4) 第42回鳥取県中学校総合体育大会結果報告及び全国・中国大会出場激励会について

教育長 学校教育課の方から説明がございましたが、そのうち区域外・校区外就学の承認、不登校・問題行動の状況については、児童生徒の個人情報が含まれますので非公開としたいと思います。

各委員 (異議なし)

[以下、非公開]

[以下、公開]

教育長 それでは学校の適正配置について、資料もたくさんございますが、シンポジウムはみなさん参加していただいておりますので、大体のことはお分かりだと思っておりますが、それを受けて設置要綱について説明をもう一度して、みなさんの了解を得ていきたいなと思っております。

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 山守と関金の統合準備委員会が立ち上がるまでこの協議会をしたわけですけども、大体こういった制度でできておりました。見ていただいているでしょうか。これは協議会の中で、設置場所についてこういう考え方があるんだということまで

は出しても、ここで決定するというわけではないということですね。

学校教育課長  
委 員

はい、そうです。

これは流れとしてはどういう形になるのでしょうか。

この要綱をもって、地区公民館長さんなりにひとまずボールを投げて、どうするかという形なのでしょうか。

学校教育課長

はい、依頼文書を作成させていただいて、文書を発送するだけではわかりにくい面がございますので、担当者と私が出掛けさせていただいて、依頼文書とともに説明もさせていただいて、お願いをさせていただこうという風に考えているところです。

なお、協議会の立ち上げですけれども、いつまでもというわけにはいきませんので、せめて今年度中には、それでも遅いとは思いますが、ある程度期限を設けて、ここまでになんとか立ち上げに協力お願いしたいということで説明をして参りたいと思います。

委 員

4条の説明をもう一度お願いしたいんですけれども、委員は5名ですか？

学校教育課長

5名です。

委 員

それ以外に小学校も代表者を設けるのですか？

委員の中から代表者を設けるということですか？

学校教育課長

はい、そうです。

委 員

校区ごとの？

学校教育課長

はい。

委 員

ちょっと言い回しがわかりにくいですね。

教育長

そうですね。

委 員

要するに、5名は超えることはないということですね？

学校教育課長

はい。

委 員

5名大丈夫ですか？

教育長

準備委員会になるともう少し人数を増やしていきますけれども、あまり人数が多すぎると集約できなくなりますので。例えば3と考えた場合15人いますから、15人の会というのは結構大きいですから。一応5名程度ということで説明していますので、ここはある程度の自由はききます。

委 員

各地区は同じ人数ですね？

教育長

ええ、それは必ず同じです。ですから人数はここで決めていただければ。一応説明のところは5名程度ということで。

委 員

3地区の統合ということを検討するとすると、地区代表が3名と先生方とあと1名？

教育長

ですから、地区代表から2名ですから、2名・1名、それからPTAで2名ですから5名。3地区集まると15名になります。

委 員

そういうことか。

教育長

一番心配しましたのは、PTAの保護者の意見がまずきちっと出せるという状況をつくることです。

委 員

そうですね。

教育長

文科省の手引きの中にもやっぱりまず第一は保護者ですよと、ということが明記してありますので。

委 員

あと気になるのがですね、例えば成徳・明倫・灘手といった場合に、成徳・明倫はさっと話がまとまるけれど、灘手が嫌だと言って出さないといった場合は、この協議

会自体が成り立たないとなるのか、成徳・明倫で話を進めていくのかというところが難しいかと思えますけれども。

委員 それは残すというわけにはならないでしょう、協議会は。どうしても説得してやるしかないんじゃないですかね。参加いただいて。

教育長 まあ2校でも成立はしますから、それはいつでもおいでくださいという中で進めていくと。

委員 それはちょっとなかなか問題を起こしそうですね。なんとか説得をしていただいで。

教育長 一応要綱を確定し、そして依頼文書で自治連の会長さん、それからここに挙がっているような、まあ自治連の会長さんでいいと思いますけどね。それからPTA会長、それから学校長ということにすれば、そこから出てくると思います。そこは中で協議していただければいいんですけれども。ただまあ、次にまた上小鴨の例を出したいと思えますけれども、出さないよということになってくると、あるいは北谷地区あたりも9月いっぱい待ってくれという話がありましてですね。その辺は、文書の中にいつ頃まで待ってくれというようなことも、書けるような文面にしようかなと思っておりますけれども。おそらく高城もまだもう少し時間がかかるんじゃないかな、と思えますが。一応うちとしては目処を9月ということにしていますので。まあいつ頃に立ち上げれるか、そのためにもこのアンケートの用紙で、早急に9月・11月・1月というような区切りをしておりますので。

中身自体はよろしいでしょうか？特に考えなければいけないのは人数のところ、それから協議会、性格をきちっと説明しなければいけないわけですが。

委員 この協議事項の部分がもう少し柔らかくなると、出ようかなという感じにはなるかなと思えます。

委員 そこが決まるとほとんど決まるというような感じに仕掛けてありますから、ちょっと重たいかもしれませんね。

教育長 ここまで明記しないでいきますか。まあ準備委員会の中身を先回りしてきてるんでね。この項目が入っちゃうとかなりあーという感じになっちゃうんでね。

委員 ちょっと手を挙げにくい校区が出てくるかもしれないので、そこは柔らかくスタートした方が、話し合いがしやすいのかもしれないですね。

教育長 小学校の適正配置に関する様々な課題を出し合い、それについて整理をし、協議していくための会である。結論はまだ出さない。

委員 立ち上がったら、具体的にはこういうこともぜひというような、形の方が立ち上げとしてはいいのかな。

教育長 ちょっとここまでは、ここに協議委員会の手に乗っちゃったら、ずっとひきずりこまれちゃうというように思っておられますからね。

委員 この場では、適正配置を実施するかどうかを検討する場だという部分を残して集まっていたかという形になりますか？

教育長 はい。まあ地元の方の意見も様々あるわけけれども、そういった意見を集約しあるいはぶつけて、それから課題を整理していくための会であると。ということにすれば、項目はうちが持っておいて、その都度出していけばいいということですね。課題の明確化の辺までかな、対策までいくと引っ張られちゃうと思ってしまうので。

まあ今までこれがしてなかったわけですから、この項目は外すということ。

文言もう一度確認しましょうか。小学校の適正配置に関する様々な課題を出し合

い、これはダメですね、上に次に係る事項を協議するがあるからこれを引いちゃつとるんだな、第3条の(1)は取っちゃって、協議会は小学校の適正配置に関する様々な課題を出し、課題を明確化するではどうでしょうか。

委員  
教育長  
委員

そうですね。

結論を出す会ではないですよ。あくまでね。

どちらかといえば、そういう反対の考えを持っておられる地域に対して、この協議会に出ないと損だよな、と感じるような会になればいいかなと。出ておかないとまずいぞという。

委員  
教育長  
委員

実際に立ち上がってから、もう一回締めてもらって。

そうですね。

みんなが周りを見るでしょうから。多分、館長さん同士での話もあるでしょうからね。

教育長

まあここはちょっと慎重に進めなければいけないな、と思っております。まあしかしこれでやらないということはないですよ、倉吉市民のご意見からしても、やらなくちゃいけませんよというところです。

委員  
教育長

その部分は毅然としてほしいですね。

まあご説明の中でもね、あくまでここは方向性を決定するところではありませんよと。

5条の2番、協議会は各小学校区の報告を受け、協議会の方向性を決定するというのは、すつと読めるかな？

ですからここでもある程度反対の意見のところも拾いますよという意味合いで言っているつもりなんだけれども、いいですね？ここで反対決議したら反対になるかと言ったら、いやいやそういうわけにはいかないという。ただ3番目のところには必要に応じてという言い方ですから、ちょっと枠を広げることも可能ですよということを入れております。

一応要綱につきましてはよろしいでしょうか。

(各委員意見なし)・・・確認

教育長

さてその前のところについて、これは事立ててどうのこうのというわけではないですけれど、まあ一応出ませんよというニュアンスのものでございます。

委員  
教育長  
委員  
教育長

要はそういうのを出される前に楔を打っておこうという。

まあ、この申し入れでどうのこうのとうちがするものではないので。

この文書を受けたとしましても、設置要綱の設置の願いは出すんですか？

大丈夫です。出すなどは言えませんので。それで参加しませんなら参加しませんということになるとは思います。

委員  
教育長

進めればいいんじゃないかと。

一応こういうものが来ておりますということは、市長のほうにも伝え申し上げております。まあ時間がかかるかもしれないな、ということはおっしゃってましたんで、でもここを通らないといけないようなんです。

要綱の中身を確認していただきましたので、次回の教育委員会で今日の話を反映させた要綱を改めて審議していただきたいと思っております。

○生涯学習課

(1) 全国高等学校総合体育大会（自転車競技）の開催結果について

(2) 平成 28 年度生涯学習講座の開催について

(3) 平成 28 年度倉吉市民体育大会について

教育長 生涯学習課の方で報告がございましたが、いかがでございましょうか。  
インターハイ、みなさん見ていただきましたか？

委 員 見させていただきましたけど、ちょっと聞いたのは食べる場所がわからなかったと。

生涯学習課長 場所がわかりづらかったですか。

委 員 私も思いましたけれども、何人かやっぱり。それでくらすけくんの煎餅も残ってしまっ  
て、あるところどころで売って消化してますけれども。わかりにくい、バスを降りたら先の方  
に行かなきゃいけないくて、店が出ていることも見えなかったというのを感じました。

でも試合を初めて見せていただいて、青春時代を思い出しました。

生涯学習課長 はい。また今後においても、前にもお伝えしておりますが、色んな形での大会とい  
うのが関わりが来るかと思えます。またこういう様な形が必ず来ますので、ぜひ今のご  
意見を次に活かすという風に、そういったPR、降りてからのここに何があるかというのを周知  
するというを残していきたいと思えます。アナウンスされたりと若干そういう風な形はしてい  
るんですが、やはりそれは一時的な、その時だけですべての方が聞いていらっしゃるわけでは  
ございませんので、何かそういった工夫をしたいと思います。

委 員 中国大会ぐらいですか？次は。

教育長 どうも全国大会を頭に入れておられるようですね。自転車選手権みたいなもの。それ  
からももう少し先に。

生涯学習課長 はい、オリンピックの翌年になります。平成 33 年になるんですが、関西マスタ  
ーズゲームズという、大きな国際大会があります。これの誘致というものを昨年倉吉として、  
県、そして自転車連盟の方から依頼を受けて協議する中で、倉吉としても、ぜひ競技場を活か  
してやっていこうということで、誘致を進めております。最終的には、10月頃までにはおおよそ  
決まるだろうということで、多分こちらの方が決まるだろうな、という風に思えます。平成 33  
年5月ということで、その際にはトラックのレースは大体これでできるのかなと思ってお  
ります。そして併せてロードの方も、過去の例では約 1,000 人近くの参加があるということが  
あるんで、正式に決まった時点で、どういう風な動きなのかということ、もう少し具体的に詰  
めていくことも必要になってくるかと思えます。その他にも、この自転車競技場のバンクその  
ものはオリンピックには使われないんですけども、オリンピックの練習場としては可能性が  
あるということで、県を中心にこれは静岡の屋内の 250m のコースがあります。室内の。そ  
こがオリンピックの会場になるんですが、その練習用にとすることで手を挙げて来られる  
方もあるんじゃないかと、そういう方の誘致というのも県としては勧めていきたいという  
こと。それに併せて色んな拍車がかかる可能性があるかな、という思いはしております。

教育長 まあ大きいところもありますし、国際大会とかになると大変だろうなと思  
いながら。それにはまあもうちょっと前段で、全国大会を何個か入れていくということ  
のようです。ひとつには、ロードをどうするかということ。

- 委員  
生涯学習課長 あれは雨の場合も試合はするんですか？  
はい。基本的には雨でも影響なく、今回も一時雨が降りました。ということで、影響なくという形でできました。ただ雷っていうのが非常に心配されますので、まあ雷の場合は状況をみて中止をする、雨も警報が出ている程度であればやはり中止をするという形になると思います。
- 教育長 あんまり天気が良くなって膨張して、雨が降ってピューッと締まってスピードが出たんじゃないかということです。
- 生涯学習課長 今回も 20 年ぶりに新記録が出て、いつまでも倉吉自転車競技場で出たという記録も残るといことがありますので。
- 委員  
生涯学習課長 ロードってどれくらいの距離なんですか？  
色々いくつか考え方があって、5 km だとか 10km だとか作って、そこを何回か周回するという形になるかと思います。
- 教育長 この間インターハイ、三原でロードがあったんですけども、あれは広島空港を周回するようなコースで5周くらいしましたね。全体 100km を5周でしましたね。
- 委員 なるべく平坦なほうがいいんでしょうかね？  
アップダウンがOKだったら、東伯に下って三本杉上がって地蔵峠から出てきたら、激しいコースが十分とれますよ。
- 委員 交通規制するのが大変ですね。  
委員 少ないですから車も。  
委員 車が少ないから大丈夫ですか。  
生涯学習課長 色々な形でルート設定っていうのができるんですけども、出来得れば誰もいないところよりも、手を振っていただいて応援していただくほうがいいよな、っていうのがやはり提供者からの声でありますから、出来得れば倉吉の中で、高城地区の中で、途中農道を使って谷を越えてという中での形のコースをとということ、地元の方にも一度は、公民館の方々の方にもこんな方法もないだろうか、という形でもお話をさせていただきました。異論は特にないということでした。とはいえ、5年も前の話ですから、また直前になればまた色々な声も出てくると思いますが、ぜひ協力できるような体制を今からお願いできたらと思います。
- 教育長 関係者、非常に期待しておられます。  
委員 倉吉市民体育大会に、自転車競技が入らないといけないですね。  
生涯学習課長 そうですね。  
まあ高城の方でも、まあ今すぐではないんですけども、例えば高城地区の中で何かクラブみたいなものがないか、という話も出て来たりはしております。全国の中では、やはり自転車が盛んなところは、その地域でもって選手クラブ、子どもからお年寄りまでみたいな形もあつたりもします。ぜひそういうようなことでも希望をいただけるのであれば、また関わりながら協力していきたいと思います。
- 教育長 一番オリンピックに近い種目ではないかと。  
委員 そうですね、強いですからね。

## ○文化財課

(1) 平成 28 年度第 1 回倉吉市文化財保護審議会の報告について

(2) 8/10 倉吉淀屋 10 万人達成記念セレモニーについて

教育長 淀屋は今改修もしているんですね？

文化財課長 今大体設計が終わって、9月から工事に入ります。  
教育長 今年いっぱいですか？来年？  
文化財課長 来年いっぱいです。  
教育長 昔の形が復元できますので、見ごたえのあるものになると思います。  
それからこのチラシの方に、たくさん文化財報告あるいは歴史講座、次のところでもありますけれども、演劇もありますし、盛り沢山でございますけれども、ぜひとも見ていただければ、あるいは紹介していただければありがたいなと思います。

委員 これ、いっぱいになってしまうかもしれませんね。300人だとすぐなりそうだけど。  
教育長 全国でも色んなところで1300年があります。キリのいい年になってますので。

## ○博物館

- (1) 平成28年度第1回博物館協議会について
- (2) 菅楯彦大賞受賞作品について
- (3) 自然ウォッチング「おさかな教室」事業報告について

教育長 県立美術館の動きは、どうも鳥取の方の旧桂見のところについては、もうやらないということで、どうも県の教育委員会と話ができそうな感じですかね。

博物館長 新聞報道でしか知りませんが、鳥取の人たちにとっては凍結を解除したと言うことは桂見で凍結していたので、それが解除になっているから当然桂見もしくは鳥取市だという捉え方ををしておられます。

ただし、美術館建設の議論を始めるといった平成25年の12月の県議会の時に、凍結解除になったわけですが、その年が明けた平成26年はゼロベースで検討するんだと、過去のいきさつはいきさつとして、ゼロベースで検討するんだということを今期の山本教育長もおっしゃってますので、いわゆる市・町から12の候補地が挙がり、それを候補地評価専門委員会が現地視察を行って、今現在は4つに絞られております。

それぞれの、候補地が5段階評価になっておりまして、5段階評価の○・○△・△・△×・×という5段階評価なんですけれども、12地区の中で一番評価の高いのが○を8点取っている市営ラグビー場が一番高いと。それに加えて、○だけではなくて○△・△、ここでもいいだろうというのが△になるんですけれども、その合計点の高いところを上から4つ選んだのが、今の4つに絞った候補地であります。鳥取市役所跡地、そして鳥取砂丘、そして北栄町の旧運転免許試験場跡地、そしてラグビー場。

なお、この評価委員会の評点の中でラグビー場にも×がついております。×が2点ついております。もちろん、この×はどういう人が付けたかという、地域づくりあるいは、文化施設と連携できるか否かといった観点においての専門家が付けられた評価なんです、いずれも×がついております。倉吉ラグビー場にも2点の×がついておりますけれども、2点のうち1点は文化施設の連携ができない場所だと言うのが一つ。地域づくりに貢献できない場所である。ということで×がついておりますが、とても見当違いの評価だなと、私自身は個人的に思っております。

ラグビー場を倉吉市として、候補地として推薦する際に、推薦状の中には倉吉市博物館との近隣文化施設との連携ということも挙げておりますので、それがなぜ評価されないのかなというところもありますし、地域づくりに貢献できない場所ということは、どういう意味なのかなということは思っておりますけれども、いずれにつきまし

ても、桂見も入れて 13 地区の評点の中では、評価が一番ラグビー場が高いという結果になっております。

教育長  
委員  
博物館長

できれば今晚ぜひとも。

小鴨地区、上井地区の参加状況って？

どちらも出ましたけれども、小鴨地区が 3、40 人くらいで結構多かったようです。上井地区につきましては 24 人くらい。いずれも半数は市職員でありましたけれども。

どちらも出たんですけれど、どちらも出て同じ話だと思ったところが、いわゆる担当者が、博物館の学芸員が説明するんですけれども、学芸員の説明がみんな違っておりましたので、学芸員が違っていたのでそれぞれ、違った人間が違ったパワーポイントを作っておりましたので、2 回出ましたけれども 2 回とも内容が違っておりましたし、今回 3 回目ですけれども、多分また違った切り口での説明になるのかなと思います。

## ○図書館

(1) 夏休み行事について

## ○学校給食センター

(1) 学校給食センター調理等業務委託業者選定に係る募集要項について

教育長 センターの方の調理業務委託募集要項でございます。現在 3 社でございます。いかがでしょうか。

教育長 3 社でもいいですね？

学校給食センター長 二次審査でこの要綱上は、P.42 の 12 の (1) の (イ) に評価審査というところがございます。ここに総合評価点で順位付けを行って、5 つの事業者を選定するという風に書いておりますけれども、万一この数に満たない場合等につきましては、この限りでないということを書いておりますので、最終的に満たなくてもその中で評価の高い事業者を選んでいくということになっていくだろうと思います。

委員 ちなみに県内の業者さんもあるんですか？

学校給食センター長 ございません。

教育長 はい、よろしいでしょうか。

(各委員ご意見なし)

## 7 その他

なし

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成 28 年 9 月 27 日 (火) 午後 3 時

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室

午後 4 時 40 分終了

## 8 閉会